

# 市議会だより

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
平成28年(2016年)11月1日

# GOJO

No.61



**五條代官所について**  
現在、五條市役所庁舎が建っている場所は、文久3年(1863年)8月17日、天誅組志士が一斉に挙兵し、五條代官所を襲い、櫻井寺を本陣として五條新政府を号し、討幕の旗をあげたところです。

## 五條市議会第3回9月定例会の概要 及び第2回臨時会の概要

平成28年第3回9月定例会は、9月7日に開会、会期を10月3日までの27日間と決定し、初日に市長から市政報告と提出議案の説明並びに教育長から教育委員会の点検評価報告を受けました。

本定例会には、平成28年度五條市一般会計補正予算、平成27年度各会計歳入歳出の決算認定、五條市教育委員会委員の任命同意などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、有害鳥獣対策の推進を求める意見書などを提案し、それぞれ慎重な審議を行うとともに、7名の議員が一般質問を行い、9月29日に議事が全部終了し閉会しました。

平成28年第2回10月臨時会は、10月17日・18日に開会し、市長から提出された財産の取得について審議を行い、閉会いたしました。

## 目次

一般質問	2～8ページ
第2回臨時会の概要	9ページ
意見書・決議	9ページ
総務文教常任委員会の報告	10～11ページ
厚生建設常任委員会の報告	12～13ページ
決算審査特別委員会の報告	14ページ
表決結果と議決結果	15ページ
議長交際費ほか	16ページ

# 一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめていきます。

## 安心して介護保険の利用について



山口耕司議員

A: 世帯の課税収入状況に関わらず、受領委任払いの方法で検討する。

ないがどのように考えるか。

また、施工金額のチェック体制はどうなっているのか。

**山口** 介護保険を利用した住宅改修は上限20万円で1割負担となっている。支払いは、一時立替の償還払いと、立替払いの必要がない受領委任払い制度がある。

平成25年3月議会で私が一般質問を行い、低所得者対策として同年9月より受領委任払いが開始されたが、住宅改修等の保険料の使用実態について尋ねる。

**あんしん福祉部長** 平成26年度175件、金額は約1,300万円。27年度181件、約1,400万円と増加傾向にある。

**山口** いただいた資料でまとめたが、別表1で間違いないか。

**あんしん福祉部長** 間違いない。

**山口** 市内業者の施工が少

**あんしん福祉部長** 市内の工務店等での施工及び金額のチェックができる体制に向け取組んでまいりたい。

**山口** 償還払いでは、被保険者が支払い前に銀行へ行き自宅にお金を保管し、支払いに備えなければならず、一人暮らしで銀行等に行くのが困難な方は、誰かに依頼しなくてはならない。

住宅改修の目的は、今いるところで住み続けるためではないか。経済的理由での受領委任払いではなく、この支払制度が必要な方を対象としてはどうか。

**あんしん福祉部長** 世帯の課税収入状況に関わらず、受領委任払いの方法で検討する。

**山口** 介護保険被保険者として、住宅改修に係る補助限度額を、最大限有効に活用できる取組をお願いする。

(別表1)

	25年~28年(約3ヶ年)		比率(%)	
	件数	金額(円)	件数	金額
橋本市	238	15,892,312	44.9%	38.8%
五條市	84	4,627,204	15.8%	11.3%
他市町	61	4,763,538	11.5%	11.6%
業者外	147	15,679,858	27.7%	38.3%
計	530	40,962,912	100.0%	100.0%

この表は、介護保険を利用して住宅改修を行ったもので、福祉サービスを提供している業者を市内外に区分けし、業者外とは工務店等の施工である。

療センター路線等運行の改善が早急に必要ではないか。

**市長公室長** 今年度2回目のアンケート調査を実施。運行時間帯の延長等の声を聞き、増便に向け調整している。

**山口** 通勤・通学には、JR和歌山線は必要不可欠だが、南海高野線、近鉄吉野線との乗継は待ち時間が長く不便である。このことが人口減少につながっているのではないか。

今後、吉野口駅、橋本駅間の増便をJRと協議してはどうか。

**市長公室長** 10年ほど前にJR五条駅周辺整備も含めて協議を行ったが今後も要望してまいりたいと考える。

## 地域公共交通について

**山口** 7月26日、27日に京丹後市、近江八幡市の地域公共交通を視察。京丹後市では上限200円バスが、近江八幡市では12路線「あかこんバス」が運行し、市民生活の足となるよう、繰返し運行修正を行い充実したものとしている。

本市も、より多くの市民の声を聞き、南奈良総合医



近江八幡市で運行されているコミュニティバス(あかこんバス)



## Q: 防災行政について

A: 災害弱者の支援体制は要支援者ごとに個別の避難計画作成に向けて取り掛かる。

窪 佳秀議員

### 防災行政について

**窪** 避難時の災害弱者支援対策について伺う。

**危機管理監** 避難行動要支援者検討委員会で検討し、避難支援計画が新しく地域防災計画の中に反映された。  
**窪** 避難行動要支援者台帳システムの整備、進捗状況について伺う。

**危機管理監** 避難行動要支援者台帳システムの整備を行いデータを消防署へ提供し、119番を受信する指令台に反映するとともに警察にも有事の際には台帳の提供ができる体制である。  
**窪** 避難支援計画・台帳システムが整備されても自力で避難できない災害弱者の支援体制について伺う。

**危機管理監** 避難支援計画で要支援者ごとに避難時の手助けを行う支援者と事前に取り組む項目があり、要支援者の個別避難計画の作成に向け、要支援者・支援

者の双方の理解を得て福祉部局と役割分担しながら支援体制の充実を図る。

**窪** 手助けが必要な災害弱者に同意・承諾をもらうのはそう難しいことではない。希望者から取り掛かり口コミで輪が広がっていくのがベストであると考えるが担当課の考えを伺う。

**危機管理監** 要支援対策として自治会・地区自主防災会・民生委員・ケアマネージャーを通じて連携を深め、防災における共助を推進する観点からも自治会への加入についても促進していく。  
**窪** 福祉避難所の取組について伺う。

**危機管理監** 一般の避難所では対応が困難な避難者の受入れ先として各福祉施設と協定を結び体制をとっているが今後、受入態勢に対する訓練を推進し、課題を見付け出していききたい。  
**窪** 防災用語の周知及び地

震等予測不能な事態への対応について伺う。

**市長** 防災情報にかかる周知は非常に大切であり防災ガイドブックの配布や市総合防災訓練・地区の防災訓練の機会を捉えて継続して実施していく。台風等予測可能な災害への事前対策として時系列に整理したタイムラインを作成中であり、予測できない地震災害等は継続的にシェイクアウト訓練を重ね万全を期して行く。

### 要望書について

**窪** 要望書の取扱いについて尋ねる。

**理事** 自治会等から市に提出された要望書は、地域政策課が窓口となり受付し要望内容の確認をし、担当部課長に通知している。担当部課においては要望内容を検討し文書、面談等により回答を行うとともに地域政策課に内容報告をしている。

**窪** 要望書の処理について伺う。

**理事** 所属部課で要望書は管理され、人事異動があっても適切に引き継がれていると認識している。

要望内容により担当部署がすぐに対応できる事項と長期的な検討が必要な事項があり回答に時間を要する場合もある。

**窪** 要望書は要望者が変われば再提出が必要か。

**理事** 要望内容に変更なければ再提出の必要はない。

要望項目も多く即座に要望内容を窓口でお答えできず、待っていた状況は見直していく。

**窪** 要望内容により緊急性のものを優先し、小さな要望にも耳を傾け真剣に取り組み、要望者には親切丁寧に中間報告を行っていただきたい。

※五條市総合防災訓練についても質問しました。

## Q: 行政サービスの水準を維持するための今後の対策について

A: 限られた財源の中で、「選択と集中」を進めてまいる。



牧野雅一議員

### 市内の浸水想定区域について（水防法の改正）

**牧野** 近年、異常気象による洪水のほか想定を超える浸水被害が多発し、特に、ゲリラ豪雨により、頻繁に浸水被害が発生していることから水防法の改正が行われ想定し得る最大規模の降雨を前提とした区域に拡充されたが、「五條市地域防災計画」と「ハザードマップ」には反映しているのか。  
**危機管理監** 改正内容を精査し、一層の避難体制の充実強化を図るため、来年の出水期までに市民の皆様へ提供できるよう基礎データの収集・集約作業を進めてまいりたい。

**牧野** 河川の近くに花咲寮の移転が計画されている。高齢者施設（岩手県楽ん楽ん）の被災・紀伊半島大水害により甚大な被害を受け犠牲者を出したことを教訓に有事の際の避難計画や施設の構造に関し危機統括室

から提言・助言し水防法改正を反映した質の高いハザードマップを迅速に作成し、より安心・安全な施設及び二見・川端地区の環境整備構築に貢献するよう願う。

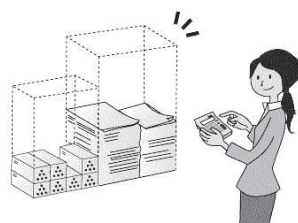
### 普通交付税の縮減とその対策について

**牧野** 財政力の弱い自治体は、国から交付される地方交付税に大きく依存する財政構造にある。前年度対比と、今後の見通しを尋ねる。  
**理事** 前年度対比は4億2,385万1千円の減であり、合併算定替えの縮減が始まり次年度から合併算定替縮減期間が終了し、平成32年度までに、段階的に約4億5千万円が縮減される。

**牧野** 5年の間に12パーセント強もの普通交付税の縮減となる。新庁舎建設事業やその周辺街路整備事業、花咲寮の移転、市営墓地事業、ごみの中継地建設事業、新体育館周辺市道整備事業等々大きな建設事業が予定

され、現庁舎の跡地整備をはじめ、老朽化しつつある公共施設の除却や長寿命化さらに少子高齢化への対応に伴う医療費・扶助費の自然増への対応など、行政サービスの水準を維持するためには、更なる財政出動が見込まれるが、今後の対策を尋ねる。

**理事** 指摘のとおり、今後とも厳しい財政状況が見込まれる。歳入歳出の両面で、行政改革をより一層推進し、限られた財源の中で、「選択と集中」を進めてまいる。



**牧野** 既定の主要な施策であっても、発想の転換と英断による「軌道修正」がこうした難局には求められ、「前例踏襲」や「役所の常識」といった従来の考えから脱却し、効率的にこの町

の将来を担う次世代のため多くの先人の手によって創られてきた「大好きな、大好きな私たちの五條」が、持続可能な行財政運営の手法について真剣に議論し、今後の事業計画・予算編成などに活かしていただくことを伏してお願いする。



### 【その他の質問】

- 大塔町の復興・振興について
1. 進捗について
  2. 今後の展望について
- 職員の就労環境について
1. 職員の負担軽減並びに超過勤務の縮減について
  2. 管理職手当について
- 施設の防犯対策について
1. 幼稚園、保育所、小・中学校、高齢者・障害者施設の防犯マニュアルについて
- 繰越しの抑制に向けた取組の現状について
1. 経緯・推移について